

住み慣れた土地で暮らすために

こんにちは
地域包括支援センターです。

健康福祉課 ☎ 32-9132



多くの人はできる限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることを望んでいます。そのためには、公的なサービスだけでは限界があり、地域の実情にそった身近な近隣による柔軟な支援が欠かせません。

国では、そのための「地域づくり」を上記の植木鉢に例え、住民・関係団体・行政それぞれの役割を示唆しています。

まず、単身・高齢者世帯が主流になる中で、在宅生活を選択することの意味を、本人や家族が理解し、そのための心構えを持つことが、まず重要な植木鉢の「受け皿」になります。住まいでの生活を確立するために必要な生活支援・福祉サービスは植木鉢に満たされる養分を含んだ「土」です。生活支援には食事の準備などサービス化できる支援から近隣住民の声掛けや見守り支援など幅広く、担い手も多様です。人の温もりが感じられる養分たっぷりの土にしたいものです。そしてその土の上に、その人に必要な専門職が提供する「葉」が育つことで、その植木鉢には豊かな「花」が咲きます。

このような輝いた植木鉢が志賀町の至る所で育つよう、私たちも皆さんと一緒に「土」を耕していきたいと思ひます。

皆さまのご意見やご協力をお願いします。

避難行動要支援者調査 について

志賀町では、災害時に自ら避難行動が困難な人(要支援者)について、個別の計画を策定するための調査を行っています。

この調査は、国の災害対策基本法および町の地域防災計画に基づき、行われるもので、地区民生委員が、要支援者と思われる人の抽出調査(8月~11月)を行っていますので、ご理解とご協力をお願いします。

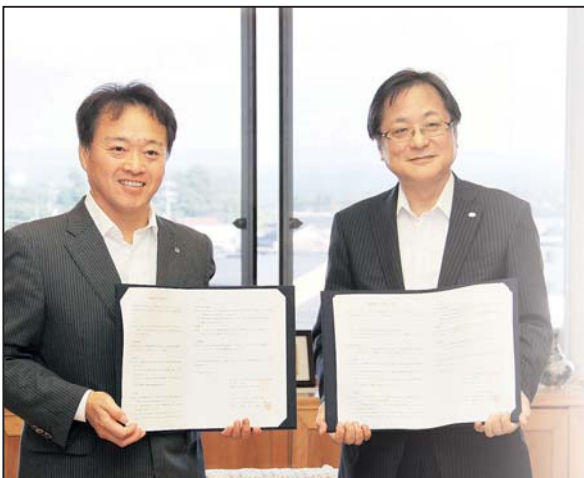
また、この調査により、要支援者となった人のうち、他人の介助がなければ避難することができない人には、今後、具体的な避難の方法や実際に避難を支援する人を定めた「個別計画」を策定することになりますので、ご理解とご協力をお願いします。

地域見守り協定で安心・安全を

9月8日(月)に、生活共同組合コープいしかわと「地域見守りに関する協定」を結びました。県内では、11番目の調印です。

志賀町では、約2千人がコープの宅配を利用し、中には一人暮らし高齢者もいます。宅配業務の際、住民の異変を察知した場合は町に連絡をもらい、担当部署で迅速に対応します。

小泉町長は、「町民の安心・安全の確保に向けて、色々な面で協力をお願いします」と呼びかけ、長谷川隆史理事長は、「町民が住み慣れた地域で安心して暮らすことが出来るよう、協力していきたいと思ひます」と答えました。



子どもが健やかに成長していくためには、家庭のあたたかい愛情が大切です。しかし、さまざまな事情から、家庭で暮らすことのできない子どもがいます。このような子どもたちを自らの家庭に家族の一員として迎え入れ、豊かな愛情をもって養育してくださる方を「里親」といいます。里親には養育の期間や方法などにより、

① 養育里親 ② 専門里親
③ 親族里親 ④ 養子縁組を希望する者の4種類があります。

里親になるには特別な資格はいりませんが、養育里親研修を修了したこと、子どもの養育についての理解や熱意と愛情を持っていること、里親になることを希望する本人や同居人が欠格事由に該当しないこと、経済的に困窮していないことなどが認定要件となっています。なお、要件は里親の種類により異なります。

能登地区での里親についての相談・申し込み・問い合わせは、七尾児童相談所で行っています。お気軽にご相談ください。

志賀町要保護児童
対策地域協議会だより

10月は里親月間です

いしかわ森林環境税による森づくりを実施しています

<森林環境税を活用した取組>

1 手入れ不足の人工林の整備

○ 強度間伐

手入れ不足となっている人工林で適切な強度間伐（木の間引き）を行い、林内を明るくして下草や広葉樹の生長を促すことで、「緑のダム」ともいわれる、保水力が高い健全な森林へ誘導します。

【イメージ図】



間伐実施前の手入れ不足の人工林



通常の間伐より多めに間引きします



間伐後5年経過した人工林



高木性落葉樹が育成

○ 侵入竹の除去

近年、竹林の管理放棄に伴い、手入れ不足の人工林に竹の侵入が見られます。このような場合、林内がさらに暗くなり、森林の持つ機能が一層低下することが懸念されるため、手入れ不足の人工林に侵入した竹の除去と、その発生源となる放置竹林の伐採を併せて実施しています。



人工林に侵入した竹の除去前



竹の除去後

2 県民の理解と参加による森づくり

県民の皆さんの森林に対する理解と参加による森づくりを推進する活動にも取り組んでいます。



毎年10月に県民森づくり大会を開催



子ども達を対象とした森林環境教育



ボランティアによる森づくり活動

※県では、施業の集約化等により材を効率的に搬出し利用する間伐も、造林補助制度を活用して積極的に進めています。

県土の7割を占める森林は、水を育んだり、山地災害を防ぎ、二酸化炭素を吸収するなど、私たちの暮らしに多くの恵みを与えてくれる県民共有の財産です。しかし、木材価格の低迷や山村の過疎化・

高齡化などにより、間伐などの適切な手入れが行われなくなり、このままでは森林が荒廃し、森林のもつ能力の低下により、私たちの安全で安心な暮らしへの影響が懸念されます。

このため、県では平成19年度から県民一人当たり年税5000円の「いしかわ森林環境税」をいただいて、手入れ不足の人工林の整備や県民の理解と参加による森づくりを推進しています。

第66回全国植樹祭

参加無料・バス送迎付

全国植樹祭は、毎年春季に天皇皇后両陛下ご臨席のもと開催される国土緑化運動の中心的行事です。石川県では、32年ぶり2回目の開催です。この機会に全国植樹祭に参加して、健全な森林の育成について考えてみませんか？



参加者募集!

◆募集期間 10月1日(水)～11月20日(木)
(※11月20日の消印有効)

◆応募資格 県内在住、満6歳以上の人(平成27年4月1日現在 ※18歳未満の人は成人と一緒に応募)

◆募集人数 約3,000人

◆応募方法 専用の「参加応募用紙」に必要事項を記入して、郵送・ファクシミリまたは持参にて応募。※「応募ガイド」は志賀町農林水産課で配布します。

【第66回全国植樹祭の概要】

◆日時 平成27年5月17日(日)

式典…10時10分～12時20分

◆場所 木場潟公園中央園地(小松市)

◆行事内容 記念式典、アトラクション、参加者記念植樹、特産品の販売、森林・林業関係の展示など

◆参加特典 県産食材を盛り込んだ「全国植樹祭公式弁当」および「大会記念品」を進呈

【申】第66回全国植樹祭石川県実行委員会事務局

☎076・225・1673

FAX 076・225・1619

※詳しくは「応募ガイド」またはホームページをご覧ください。

植樹祭 いしかわ



大関を獲得した屋敷・中棚組の披露太鼓①と、
上位入賞のみなさん②

コンビ16年目、悲願の大関獲得

県下太鼓打競技大会

石川県内で最も歴史の古い太鼓打競技といわれる県下太鼓打競技大会。9月15日(月・祝)に、高浜町の小浜神社で開かれ、町内外から43組が参加し、力強い太鼓への打ち込みやバチさばきなどを競いました。

最高位である大関には、屋敷 和正・中棚 祥一郎組(富木八幡太鼓保存会)が優勝し、第82代大関の称号を獲得しました。二人は「諦めず今までやってきて良かった」と話し、お互い抱き合いながら喜びをかみしめました。

第82回 県下太鼓打競技大会成績

賞	チーム名	大バイ	小バイ
大 関	富木八幡太鼓保存会	屋敷 和正	中棚祥一郎
関 脇	大田陣太鼓(七尾)	森田 浩一	寅松 和也
小 結	志賀豊年力太鼓保存会	中泉 貴臣	篠原 裕幸
番外一等	志賀豊年力太鼓徳田組	舟山 紳也	河野 利明
番外二等	徳田組	茨木 忠和	谷内 憲幸
番外三等	富木神幸太鼓	丸山真希男	宅田 欣央
敢闘賞	西湊鬼楽太鼓組(七尾)	大崎 誠也	大杉 尚
敢闘賞	石崎豊年太鼓(七尾)	竹田 直也	楠 尚樹
敢闘賞	大念寺	道辻 宗敬	大島 洋一
特別賞	志賀豊年力太鼓	谷内 隆太	岡崎 武留
特別賞	増穂太鼓	岡本 晃一	高 弘行
特別賞	封戸太鼓	山口 健佑	細川 誠

大人顔負けのバチさばき

子供太鼓打競技大会

8月30日(土)に、第16回子供太鼓競技大会富来大会が、9月13日(土)には、第22回大念寺子供太鼓競技大会が開

催されました。両大会には、志賀をはじめ、輪島、七尾、氷見、宝達志水などから約200人の小中学生が参加しました。2人1組で、勇ましい掛け声や太鼓の音を響き渡らせ、大人顔負けの演技を披露。両大会共に、垣越柊汰・山澤悠斗組(鵜浦豊年小童太鼓)が最高位に輝きました。



第16回子供太鼓競技大会富来大会(建部神社)

賞	チーム名	大バイ	小バイ
中学生	大関	鵜浦豊年小童太鼓(七尾)	垣越 柊汰 山澤 悠斗
	関脇	鵜浦豊年小童太鼓(七尾)	木下 奈知 小山いずみ
	小結	大念寺八幡太鼓鼓友組	道辻 宗祈 平澤 仁美
小学生高学年	大関	外雷太鼓(七尾)	杉木 智哉 石島凛々子
	関脇	富来少年八幡教室	今枝 広太 山寺 竜平
	小結	大念寺八幡太鼓鼓友組	平山 佑雅 道辻 咲人
小学生低学年	優勝	大念寺八幡太鼓鼓友組	高嶋 夕莉 中泉 心希
	準優勝	加茂倶楽部	板倉 唯 岡島 暖
	3位	富来少年八幡教室	寺西 孝宏 藏谷 早紀



第22回大念寺子供太鼓競技大会(大念寺八幡神社)

賞	チーム名	大バイ	小バイ
横綱	鵜浦豊年小童太鼓(七尾)	垣越 柊汰 山澤 悠斗	
大関	鵜浦豊年小童太鼓(七尾)	木下 奈知 小山いずみ	
関脇	大念寺八幡太鼓 鼓友組	高嶋 莉子 平澤 仁美	
小結	輪島・和太鼓 虎之介(輪島)	二木 輝尚 川端 彩乃	
番外1等	富木神幸太鼓 煌	宅田 瑛 松田 亜美	
番外2等	上熊野太鼓倶楽部	岡部 理久 村井 太一	
番外3	鵜浦豊年小童太鼓(七尾)	中村 凛太 岡 百香	
敢闘賞	輪島キリコ太鼓 絆(輪島)	山岸 愛佳 東野 天利	
技能賞	大念寺八幡太鼓 鼓友組	中村 皇胤 名山 幸那	
努力賞	大念寺八幡太鼓 鼓友組	木坂 光希 山辺 美咲	



▲遊覧船に向かう来場者⑥と、巖門洞窟を眺める来場者⑥。射的、釣りなどの縁日コーナーもあり、多くの子ども達が集まった。⑦

がんもんフェスタに家族連れ多数 ステージや遊覧船を満喫

9月7日(日)、富来牛下の景勝地・巖門で「がんもんフェスタ」が開かれ、大勢の来場者で賑わいました。

当初、8月10日に開催予定でしたが、台風のため延期。当日は好天に恵まれ、名物の遊覧船が乗船料半額で運行し、人気を集めました。また、地元団体ステージや子ども縁日、町のゆるキャラ「西能登あかり」ちゃんも登場し、会場を盛り上げました。

この誘客イベントは、町観光協会などでつくる志賀の魅力創出委員会が企画し、来春の北陸新幹線金沢開業に向けて志賀町の魅力をアピールしようと、初めて行われました。

ゆらめく灯に誘われる幻想的な夜 見竹神社萬燈祭、7,500本の灯^{ともしび}

2008年から長田の秋祭りに合わせ行っている萬燈祭が、見竹神社で9月16日(火)に開かれました。7,500本のろうそくが集落を照らし、多くの来場者を魅了しました。

地元住民や有志が集まり、鉄工所経営の中西光路さんが中心となって竹燈籠作りを進め、去年の4千基から5千基に増やしました。今年は、1本の竹に15本のろうそくが設置できる灯籠が並び、「光の壁」が登場。鳥居から見竹神社まで向かう道を美しく照らし、来訪者を導きました。

地元住民によるおわらの流し踊りや、胡弓、横笛の演奏なども披露され、優美なしらべが里山に響き渡りました。



5千基の竹灯籠が、長田の集落を優しく照らす

B & G 海洋フレアの選手5人 夏期大会の好成績を報告

9月2日(火)、富来B & G 海洋センターの選手5人が、8月中に開催された全国大会などの成績を報告しました。

B&G 全国ジュニア水泳競技大会では、6種目で上位入賞。女子4人で挑んだ200mメドレーリレーで3位だった前田優実花さん、山寺舞果さん、高島美佳さん、日高雅子さんは、「さらに上を目指し、練習に励む」と話し、男子50mバタフライと背泳ぎで優勝した池端俊哉君は、「来年も結果を残したい」と意気込みました。また、全国中学校大会の女子800m自由形で6位入賞した日高さんは、長崎国体に出場することも報告。「皆の支えで自己ベストを更新できた。国体でも頑張りたい」と話しました。



好成績を報告する富来B & G 海洋センターの選手

就学前の子どもの教育・保育を保障するため、「支給認定制度」が導入されました。
 保育園を利用する場合は、「支給認定」を受ける必要があります。
 支給認定の手続きは11月から開始予定です。
 詳細が決まり次第お知らせします。

平成27年4月から 保育園入園の手続きが 変わります



●新たに保育園入園希望の人

- ① 保育園または住民課窓口で入所申込書と支給認定申請書を受け取る。
- ② 必要書類をそろえ、入所申込書と支給認定申請書を一緒に希望する保育園、または住民課窓口へ提出。(郵便での受け付けはできません)
- ③ 志賀町から支給認定証を交付。



**決定した保育園を
利用できます！**

●継続して保育園入園希望の人

- ① 保育園から入所申込書と支給認定申請書を配布。
- ② 必要書類をそろえ、入所申込書と支給認定申請書を一緒に保育園へ提出。
- ③ 保育園を通じて志賀町から支給認定証を交付。



**現在の保育園を
継続して利用できます！**

※ 志賀町外の幼稚園や保育所、認定こども園などを利用希望の人(すでに利用されている人)は、住民課窓口で手続きをお願いします。

食生活改善推進員 坂井 博子 さん



さつまいもは、デンプンが豊富でビタミンCや食物繊維を多く含みます。皮ごと食べると食物繊維との相乗効果により便秘予防に効果があると言われています。

【材料・4人分】

さつまいも	400g
合挽き肉	150g
玉ねぎ	1/2個
しょうゆ	小さじ2
塩こしょう	少々
コンソメ(粉末)	小さじ1と1/2
小麦粉	大さじ3
卵	L 1個
パン粉	適量
黒ごま	適量
揚げ油	適量
◎付け合せの野菜	お好み



今月のレシピ

さつまいもコロッケ



451kcal
塩分 1.4g
【1人分】

◆作り方

- ① さつまいもは皮をむき、1cm幅程の輪切りにし、10分程水にさらす。
- ② さつまいもの水気を切り、蒸し器でやわらかくなるまで蒸す。玉ねぎはみじん切りにする。
- ③ フライパンで挽肉を炒め、挽肉に火が通ったら玉ねぎを加え炒める。玉ねぎが半透明になったら火を止める。
- ④ 蒸し終えたさつまいもを粗めにつぶし、③の挽肉と玉ねぎを加え、しょうゆ、塩こしょう、コンソメを加えて混ぜる。
- ⑤ ④を8等分に丸め、小麦粉、卵、黒ゴマを混ぜたパン粉の順に衣をつける。
- ⑥ 熱した揚げ油に⑤を入れ、衣がきつね色になるまで揚げる。
- ⑦ 皿に付け合せの野菜を盛り、⑥を盛る。



針や糊を使わず、加熱もしない製本技術「エコプレス」を採用しています。